

Web
開催

未来の語り口..

人間は神になれるか

AI・IoTの発達による（狩猟社会、農耕社会、産業社会、

情報社会に続く）Society5.0と呼ばれる現代、人間の能力は神をも超えようとしているかに思われる。他方で、人口（過剰・収縮）問題、環境問題はじめ人間をとりまくさまざまなリスク問題が、地球規模の課題として浮上りつつあるのも事実である。

今回の学術講演会では、こうした新たな技術の発展のなかで、私たちがいかなる未来を構想しうるのかをめぐって議論を深めたいと考える。特に、未来の主人公たる高校生や大学生にも広く参加を呼びかけてみようと考えている。

2020

9/22（火・祝） 13:00~17:00

参加費無料

事前参加申込制

どなたでも参加いただけます。

参加申込方法

参加を希望される方は、9/17(木)までに下記URLまたは右のコードより事前申込をお願いいたします。定員になり次第、事前申込みの受付は終了します。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0123.html>



開会挨拶 日本学術会議第一部会員・近畿地区会議代表幹事・京都産業大学現代社会学部教授

伊藤 公雄

日本学術会議会長挨拶 日本学術会議会長・第二部会員・京都大学総長

山極 壽一

趣旨説明 日本学術会議第一部会員・大阪大学名誉教授

小林 傳司

講演

講演1 「フューチャー・デザイン — 持続可能な未来に向けて」

日本学術会議特任連携会員・大阪大学大学院工学研究科教授

原 圭史郎

講演2 「Society 5.0が描く未来」

日本学術会議第三部会員・大阪大学大学院情報科学研究科教授

東野 輝夫

講演3 「セキュリティが支える未来のデジタル社会」

日本学術会議第三部会員・大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻教授

宮地 充子

講演4 「AIを活用した社会構想と政策提言」 京都大学こころの未来研究センター教授

広井 良典

講演5 「コロナ禍で加速するデジタル化と未来社会の構想

— ポスト・ヒューマンの時代とは」 日本学術会議第一部会員・学習院大学法学部教授

遠藤 薫

講演6 「食とリスクの視点からみた未来」

日本学術会議連携会員・立命館大学食マネジメント学部教授

新山 陽子

講演7 「人類は宇宙へ進出できるのか — 宇宙倫理学からの視点」

京都大学大学院文学研究科准教授

伊勢田哲治

全体総括 コーディネーター:

小林 傳司

閉会挨拶 日本学術会議第三部会員・京都大学学術情報メディアセンター教授

小山田耕二

総司会 日本学術会議第一部会員・京都大学大学院法学研究科教授

高山佳奈子

主催 | 日本学術会議近畿地区会議、京都産業大学

後援 | 公益財団法人 日本学術協力財団

お問合せ先 | 日本学術会議近畿地区会議事務局(京都産業大学内) TEL 075-705-2953 FAX 075-705-1960 Email: gakujuitsu-kinki@star.kyoto-su.ac.jp

新型コロナウイルス感染症の状況次第では、延期、中止又は開催方法の変更の措置を検討するものとする。

日本学術会議近畿地区会議学術講演会